

平成28年度(2016年度)

管理事業名	文化会館事業				総合計画の体系	第4章 第4節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 多彩な文化が交流するまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	2	総務費	(項)	1	総務管理費	(目)	31	文化会館費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室							
予算大事業名 文化会館管理事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名									
<p>事業の目的と概要</p> <p>市民文化の向上を目的に、大・中・小ホールを中心に展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などの施設の管理運営、催し物を円滑に進行し、可能な限りの演出効果を得られるように、舞台関係諸設備の一切についての安全確認・確保及び万全の準備と操作・設備点検などの舞台管理を行います。</p>										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
開館日数	日	330	332	331	年度内開館日数 (当年度の日数-(保守点検日+臨時休館日+年末年始休館日))
利用率	%	60.4	63.2	62.3	年間のホール及び諸室の午前・午後・夜間の区分毎(以下「コマ」と表記)にみた利用率(年間利用コマ数合計/年間提供コマ数合計)
入場者数	人	450,877	485,878	439,555	ホール及び諸室の入場者数
成果の説明	<p>1年間を通して、複数の設備の点検等をまとめて実施することで開館日を可能な限り確保し、貸館の需要に応じています。年間利用率は、施設(大・中・小ホールと、練習室等の諸室)により差がありますが、60%前後で推移しています。入場者数は、自主事業、貸館事業の入場者数を合計したもので、毎年50万人近くの方が利用しています。平成27年度が文化会館開館30周年記念事業を多数実施し、利用率、入場者数共に高い数値となったことで、平成28年度は前年に比べ利用率、入場者数いずれも減少しています。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	79,780	84,499	45,754	△38,746
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	13,689	10,946	7,288	△3,658
経常収入 小計(a)	93,469	95,445	53,041	△42,404
給与関係費	8,073	20,207	11,488	△8,719
物件費	374,728	341,347	356,948	15,602
維持補修費	6,296	9,504	9,929	425
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	324	423	239	△185
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	141,484	141,736	141,736	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	38	38
賞与引当金繰入額	651	1,519	989	△530
退職手当引当金繰入額	485	11,651	△5,633	△17,284
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	532,042	526,386	515,732	△10,654
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△438,574	△430,941	△462,691	△31,750
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	5,320	5,320
特別収入 特別収入 小計(d)	-	-	5,320	5,320
固定資産除売却損	0	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別費用 特別支出 小計(e)	0	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	△0	-	5,320	5,320
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△438,574	△430,941	△457,371	△26,430
一般財源充当額	307,657	278,707	406,696	127,989
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△130,917	△152,235	△50,675	101,560

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 その他	レストラン等の光熱水費3,937千円、レストラン等の使用料3,255千円ほか 1階レストランの閉店に伴う光熱水費、目的外使用料の減収、レストラン使用料見直しによる目的外使用料の減収
物件費	吹田市文化会館指定管理に係る施設管理委託料 355,636千円
維持補修費	舞台設備(幕類)の修繕に係る経費3,780千円 地絡事故対応に係る経費5,289千円ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	93,469	95,445	52,753	△42,692
行政サービス活動支出	390,828	374,152	381,173	7,021
行政サービス活動収支差額	△297,359	△278,707	△328,420	△49,713
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	10,298	-	78,276	78,276
投資活動収支差額	△10,298	-	△78,276	△78,276
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△307,657	△278,707	△406,696	△127,989
一般財源充当額	307,657	278,707	406,696	127,989
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入)文化会館使用料45,465千円 (行政サービス活動支出)施設管理に係る委託料355,636千円
--------------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者一人当たりコスト	平成26年度	450,877人	1,180円	文化会館利用者一人当たり1,173円のコストがかかっています。
	平成27年度	485,878人	1,083円	開館30周年記念事業を実施した昨年度と比較して高い数値となりましたが、平成26年度と比べると同程度です。
	平成28年度	439,555人	1,173円	
開館一日当たりコスト	平成26年度	330日	1,612,249円	
	平成27年度	332日	1,585,500円	文化会館を一日開館するに当たり1,558,103円のコストがかかっています。
	平成28年度	331日	1,558,103円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	1,519	989	△530
未収金	96	384	288	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	1,519	989	△530
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	△96	△134	△38	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	17,866	11,182	△6,684
有形固定資産	4,029,157	3,965,697	△63,459	地方債	-	-	-
土地	2,597,020	2,597,020	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,432,137	1,290,401	△141,736	退職手当引当金	17,866	11,182	△6,684
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	78,276	78,276	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	19,385	12,171	△7,214
インフラ資産	-	-	-	純資産	4,230,972	4,180,297	△50,675
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	200,000	200,000	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	200,000	200,000	-
固定資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
重要物品	21,200	26,520	5,320	基金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	その他債権	-	-	-
出資金	200,000	200,000	-	資産の部合計	4,250,357	4,192,468	△57,889
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	4,250,357	4,192,468	△57,889				

Ⅲ 財務構造分析

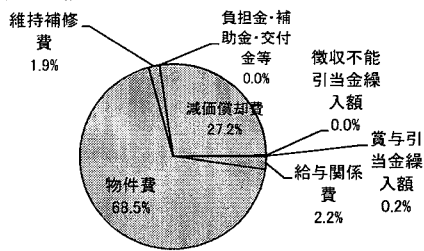
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	1.6人	0人	0日	8人	
給与関係費等	6,776千円	0千円	0千円	67千円	6,843
内、時間外勤務手当	0千円				

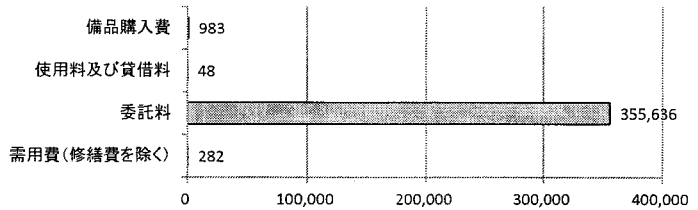
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
未収金	文化会館使用料後納分に、新たに3件の未収金が発生したことによる増
建物・工作物	吹田市文化会館(建物)減価償却による減
建設仮勘定	吹田市文化会館大規模改修工事設計業務委託料
出資金	公益財団法人吹田市文化振興事業団出資金

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市文化会館
取得年月日	昭和60年3月1日
建物・工作物の取得価額	5,811,058 千円
建物・工作物の減価償却累計額	4,520,657 千円
利用料金収入	45,754 千円

▽分析指標

分析指標	年度	平成28年度			差 B-A
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	
		A	B		
施設維持補修費比率		0.1	0.2	0.2	0.0
施設老朽化比率		72.9	75.4	77.8	2.4
受益者負担比率		15.0	16.1	8.9	△ 7.2
徴収不能引当率		100.0	100.0	34.8	△ 65.2
一般財源充当比率		76.7	74.5	88.5	14.0
経常費用対公共資産比率		9.2	9.1	8.9	△ 0.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書】コスト全体の約69%を物件費が占め、その内施設管理に係る委託料等がほぼ100%を占めています。コストの内、減価償却費が約27%、維持補修費が約2%を占めています。

【単位当たりのコスト分析】開館1日当たりのコストは、1,558,103円かかっていますが、利用者1人当たりで換算すると1,173円です。

【貸借対照表】未収金の増は、後納を認めている文化会館使用料当日精算分に新たに3件の未収金が発生したことによるものです。建設仮勘定は、平成29年度実施予定の文化会館大規模改修工事にかかる設計委託料です。工事完了後、建設仮勘定の精算を行います。

【分析指標】平成29年度に改修工事による全館休館を予定しており、平成28年度はホールの利用受付を休止しました。そのため、使用料収入が減少し、一般財源充当比率が前年に比べ上昇しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

今年度、新たな未収金が発生しました。今後、適切な債権管理を継続的にを行い、完納を目指します。

利用者が年間約50万人、年間の利用率が60%超と、高稼働の施設であり、備品の使用頻度が高く、経年による劣化が進んでいます。建物は築30年を経過し、老朽化比率が市全体の比率と比較すると高い数値となっています。平成29年度に、改修工事の実施を予定していますが、後年対応となる設備更新の応急措置が必要です。